

実質化された人・農地プラン

| 市町村名 | 対象地区名(地区内集落名) | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|-----------|----------|
| 宇佐市 | 大根川地区 | 令和2年6月25日 | |

1 対象地区の現状

| | |
|--------------------------------------|--------|
| ①地区内の耕地面積 | 20.6ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 14.6ha |
| ③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計(法人は除く) | 2.9ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 2.9ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 0ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 0ha |
| (備考) | |

2 対象地区の課題

大根川地区の担い手は、農事組合法人の大根川が主になっているが法人の構成員の高齢化が懸念される。そのため、青年の構成員を確保するような取組が必要である。また、法人が耕作できない農地については、引き続き近隣地区の耕作者を確保する必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落の農地利用は基本的には、中心経営体である農事組合法人の大根川に集約化していく予定である。

中心経営体

| 属性 | 農業者 (氏名・名称) | 現状 | | 今後の農地の引受けの意向 | | |
|-----|----------------|-----------------|---------|-----------------|---------|----|
| | | 経営作目 | 経営面積 | 経営作目 | 経営面積 | 備考 |
| 認農法 | A | 水稲・麦・大豆 ・飼料米 | 9.5 ha | 水稲・麦・大豆 ・飼料米 | 9.5 ha | |
| 認農 | B | 水稲 | 1.4 ha | 水稲 | 1.4 ha | |
| | | | ha | | ha | |
| | | | ha | | ha | |
| | | | ha | | ha | |
| | | | ha | | ha | |
| 計 | 2人 | | 10.9 ha | | 10.9 ha | |

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

アンケート結果では、農地の貸付意向の土地はないとのこと。今後については、高齢化により農業を辞める方が増えてくると考えられるので、地区の総会等で農地の貸付け意向の確認を行う。

農地中間管理機構の活用方針

大根川地区は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地の利用権設定をおこなう際には、農地中間管理機構を活用していく。

基盤整備への取組方針

大根川地区は、水路が老朽化しており用水路の改修を検討する必要がある。

新規・特産化作物の導入方針

米、麦等の土地利用型作物が主になっている。今後、水稻の価格が低下することが予想されるので、収益性の高い園芸作目の導入も地区として考えていく必要がある。